

感染症情報 7月31日～8月6日

府下小児科195医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	585例(堺市	41例)
②咽頭結膜熱	464例(堺市	39例)
③溶連菌感染症	408例(堺市	46例)
④ヘルパンギーナ	314例(堺市	34例)
⑤RSウイルス感染症	228例(堺市	19例)

府下299医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 253例(堺市 24例)

前週比1.5%増の2,206件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比1%増、堺市で前週51例→今回41例であった。咽頭結膜熱が府下で42%増、堺市で前回29例→今回39例であった。大阪市南部、泉州、大阪市西部、大阪市東部の4ブロックで警報レベル基準値3を超えている。溶連菌感染症が府下が3%減、堺市で前週36例→今回46例。ヘルパンギーナは府下で29%減、堺市で49例→34例であった。RSウイルス感染症が府下で2%減、堺市で14例→19例であった。

インフルエンザが府下で前週275例→253例で8%減、堺市で前週30例→今回24例であった。定点当たり大阪府は0.92→0.85、堺市で1.03→0.86(1未満に戻った)であった。

府下299医療機関(堺市28)から

新型コロナウイルス感染症 4,093例(堺市 534例)
大阪府定点 13.69 堺市定点 19.07

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
161	403	344	616	412	359	407	467	303	325	296	4093

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週4,399例→今回4,093例で7%減、定点当たり14.66→13.69に、堺市は前週480例→今回534例で11%増、定点当たり16.55→19.07であった。大阪府のブロック別の定点当たりでは、堺市ブロックが再びワーストになっている。

麻疹や風疹の報告はなかった。